

10月13日（金）
第45回 日本・米国南東部会
日米合同会議 開会式
吉田経済産業大臣政務官 来賓挨拶

1. はじめに

(1) 関係者への謝辞

- 皆様おはようございます。経済産業大臣政務官の吉田宣弘です。
- まず初めに、エリック・シラジー議長、津谷議長、本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。
- そして、南東部から遠路お越しいただいた、ノースカロライナ州のクーパー知事をはじめ、フロリダ、アラバマ、ジョージア、ミシシッピ、ノースカロライナ、サウスカロライナ、テネシーの皆様、日本へようこそ。日本・米国南東部会が日本で5年ぶりに開催され、こうしてご挨拶できる機会を頂けること、大変光栄に思います。

2. 経済面におけるパートナーとして

(1) 南東部での日本企業の貢献

- 日米関係を語る際、貿易や投資など日米の経済交流を欠かすことはできません。日本は米国の最大の投資国であり、100万人近い雇用を米国で生み出しています。特に地方経済にとって、企業の投資は重要です。私はそれを肌で理解しています。

- 私は、熊本県出身で九州地方選出の国会議員です。九州は日本の南西部に位置し、九州最大都市の福岡市の緯度は、米国南東部に所在するアトランタの緯度とほぼ同じです。
- 九州は、日本側の議長であるブリヂストン社の発祥の地であり、自動車や二輪などの産業集積地です。さらに、私の故郷の熊本県には新たに半導体の生産拠点が立地します。こうした企業の投資が、雇用を生み出し、地方経済を活性化させています。
- 日本企業は、米国南東部で活発に投資をし、南東部7州で1,700を超える拠点をもち、2021年時点で18.6万人の雇用を生み出しています。
- 化学やエネルギー分野の投資も南東部で行われていますが、皆さんに特に馴染みが深いのは、自動車関連産業でしょうか。日産、ホンダ、トヨタ、マツダ、ブリヂストン、デンソーなどの自動車関連産業が南東部に生産拠点を持っています。他にも多くの関連企業が投資をしています。今後成長が期待される電気自動車や電池関連の南東部での投資の決定や発表も行われています。

- 日本企業の継続的な地域経済への貢献は、日本企業への信頼に繋がります。国際情勢が不透明な中、今後も南東部の経済発展や産業の高度化に向けた信頼できるパートナーとして、日本企業が果たす役割は大きいと考えます。

(2) 政府間の日米連携

- 日米の政府間も様々な取組を通じ、信頼関係を育んでいます。
- 我々経済産業省は、産業協力、通商、エネルギーについて米国連邦政府と密接に連携しています。経済産業省は商務省と2つの会議体を有し、半導体・バイオ・量子などの産業分野での具体的な協力の議論を深めるとともに、外交当局も交えた「経済版2+2」では、経済安全保障分野の日米協力の方向性を議論しています。
- また、日本は米国が提唱するインド太平洋経済枠組み：「IPEF」の議論に積極的に貢献し、米国とともに、自由で公正なルールに基づく経済秩序の構築に取り組んでいます。さらに、日本はCPTPPによるハイレベルなルールを広げる活動も行っています。

- こうした政府間の密接な連携がお互いの国への信頼に繋が
り、そして互いの国の企業の経済活動の活性化に繋が
ると考えます。今般、日本政府とフロリダ州との間で締
結された経済・貿易に関する協力覚書も、企業活動の活
性化に繋がることを期待します。
- そして困難に直面した際に、信頼関係の真価は問われま
す。
- 東京電力福島第一原子力発電所からのALPS処理水の
海洋放出に関し、中国は科学的根拠に基づく説明に耳を
傾けず、日本の水産物の輸入停止を行っています。
- 一方、米国連邦政府は日本の対応を一貫して支持し、エ
マニュエル駐日大使を始め、多くの米国の友人が日本の
水産物や福島県食品のプロモーションに協力していま
す。先日、私の同僚である石井経済産業大臣政務官も訪
日中のグレイブス商務副長官一行と福島県のアンテナシ
ョップを訪問し、福島関連のお土産を買われたと聞いて
います。これまでの米国の協力や支援に感謝するととも
に、困難にともに立ち向かう上で日米関係の絆の強さを
改めて実感します。

- こうした政府間の信頼関係を、実際の日米企業の経済活動に繋げることが重要です。ジェットロは日本企業と米国企業を繋ぎ、州政府や地方政府とのより良い関係構築に励んでいます。南東部ではアトランタ事務所がその活動の中心です。日本企業との連携に関心のある方は、是非ジェットロにご相談ください。
- 投資による地方経済の発展を考えたとき、米国企業が日本で果たす役割も重要です。米国は日本にとって、最大の対日投資国です。日本企業が米国南東部の経済発展に協力しているように、南東部企業による日本の地方経済発展への協力を期待します。

3. 結び

- 最後に、今回の南東部会は両国の信頼関係をより一層強固なものにする好機と考えます。是非この機会に、お互いへの理解を深め、一人一人の信頼関係を育み、皆様自身が日本と南東部の信頼を構成するお一人となられることを期待します。
- 私からの挨拶は以上です。ご清聴、有難うございました。